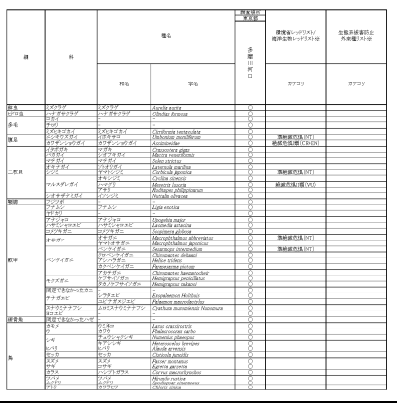
「令和２年度 東京湾環境一斉調査 調査結果」修正のお知らせ

現在掲載している「令和２年度 東京湾環境一斉調査 調査結果」の PDF ファイルは、以下の修正がなされた最新ファイルです。

<table>
<tr><th>ページ</th><th>誤</th><th>正</th></tr>
<tr><td>46【9.生物調査の実施実績 9-干潟調査 (3)干潟調査の結果】</td><td>（３）干潟調査の結果
令和２年度の干潟調査は、１団体により１地点で実施されました（図 9-1）。その結果、９綱 49 種の生物の生息が確認されました（表 9-2、表 9-3、図 9-2）。特に多いのが軟甲綱で、19 種確認されました。
さらに今回確認された生物種について、環境省レッドリスト 2020（令和２年３月）及び環境省版海洋生物レッドリスト（平成 29 年３月）への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧 IA 類（CR）と評価される種が１種、絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）と評価される種が１種、絶滅危惧Ⅱ類（VU）と評価される種が１種、準絶滅危惧（NT）と評価される種が４種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト（環境省及び農林水産省、平成 28 年）への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物及び総合対策外来種は含まれていないことがわかりました。</td><td>（３）干潟調査の結果
令和２年度の干潟調査は、１団体により１地点で実施されました（図 9-1）。その結果、９綱 49 種の生物の生息が確認されました（表 9-2、表 9-3、図 9-2）。特に多いのが軟甲綱で、19 種確認されました。
さらに今回確認された生物種について、環境省レッドリスト 2020（令和２年３月）及び環境省版海洋生物レッドリスト（平成 29 年３月）への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）と評価される種が１種、絶滅危惧Ⅱ類（VU）と評価される種が１種、準絶滅危惧（NT）と評価される種が４種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト（環境省及び農林水産省、平成 28 年）への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物及び総合対策外来種は含まれていないことがわかりました。</td></tr>
<tr><td>46【9.生物調査の実施実績 9-干潟調査 (3)干潟調査の結果 表 9-2 干潟調査で確認された生物種】</td><td>表 9－2　干潟調査で確認された生物種
 </td><td>表 9－2　干潟調査で確認された生物種
  </td></tr>
</table>